

産業振興部

農林課

1. 農業振興係

農業振興計画に関すること

農業振興地域の整備に関すること

志摩市農業振興計画の一般管理(5月、12月申請分)変更をした。

農業生産技術及び農業経営の改善普及に関すること

志摩市農業経営・生産推進協議会を開催(7月9日・2月1日)した。

農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想一部見直しについて検討

平成19年度農業生産者団体育成補助事業選考について審査

(4団体 事業総額1,734千円 補助決定額 866千円)

志摩市地域担い手育成総合支援協議会を開催(7月9日・2月1日)した。

認定農業者の認定(再認定10名+新規2名)審査

経営基盤強化促進法に基づく基本構想に関すること

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想変更県協議をした。

利用集積計画作成(36件 144,114 m²)をした。

地域農業マスタープランに関すること

新規就農者・担い手対策に関すること

認定農業者期間満了者(14名)の聞き取り調査をした。

米穀の生産調整に関すること

志摩市水田農業推進協議会を開催(4月27日・3月19日)した。

平成19年度産地づくり計画の承認

平成20年度水稻生産目標数量の配分方法について

主要農産物の生産流通に関すること

農村地域の活性化に関すること

特産物販売施設の管理運営を行った。

特産物開発センターの管理運営を行った。

特産物の生産加工販売、

ジャム作り体験教室

シルバー人材センター農業支援講習会協力

東海中学校「仕事体験学習」協力

果樹園芸の指導に関すること

柿の接木講習会を開催(4月26日、20名参加)した。

柿、みかん摘果講習会を開催(4月26日、33名参加)した。

ブルーベリー栽培講習会を開催(8月3日、49名参加)した。

梅・柿の剪定講習会を開催(11月14日、49名参加)した。

ブルーベリー栽培講習会を開催(8月3日、50名参加)した。

ブルーベリー苗の斡旋をした。 16件

作物の防疫に関すること

農業金融に関すること

志摩市特別融資制度推進会議を開催した。

資金活用決定(5件)

農業委員会との連絡調整に関すること

農業関係団体に関すること

鳥羽志摩営農連絡会議を開催(10回)した。

鳥羽志摩農業協議会にて下記の事業を行った。

総会の開催 (6月29日)

オクラ、葉たまねぎ導入推進

隼人いもウイルスフリー苗定植及び収穫

営農相談会開催 (5箇所)

農産物品評会開催 (12月2日)

獣害対策講演会の開催 (3月13日)

農業生産者団体の育成

ファーマーズ・マーケット検討

きんこ加工指針作成

伊勢地域農業共済事務組合との連絡調整に関すること

水稻共済細目書、建物共済の取次をした。

その他農業振興に関すること

地産地消の推進

JA鳥羽志摩主催の農業祭への協力

農業生産者団体 4団体へ合計866,000円市補助金の支出

JA鳥羽志摩へ(アグリスクール他)1,000,000円市補助金支出

磯部農業就業改善センターエアコン取替工事 447,300円

2. 農林畜産基盤整備係

森林整備計画に関すること

伐採届の受理をした。(12件)

造林に関すること

(1) 志摩市造林委員会を開催し、志摩市有林の管理について協議した。

報酬:335,000円

(2) 市有林の枝打ち、間伐、下刈りを行った。

磯部町山田・山原地区

事業費:1,050,000円(委託料)

事業内容:枝打ち・間伐・下刈り

磯部町恵利原・山原地区

賃金:924,000円(11人、延べ110日)

事業内容:枝打ち、間伐

(3) 森林環境創造事業

森林の公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるため森林の管理を行った。

総事業費:3,402,000円(県補助金2,721,600円・市負担金680,400円)

施工場所:阿児町地内 横山創造の森

事業内容:下刈り4.30ha 間伐5.62ha 每木調査5箇所

施工場所:浜島町地内 磯笛公園(ヲバベタ山)

事業内容:歩道草刈0.87ha 面積調査257.8m

施工場所:磯部町地内 漁火の森

事業内容:下刈り2.10ha 車道整備0.14ha 歩道整備0.90ha

(4) 生活環境保全林遊歩道管理委託事業

磯笛公園(ヲバベタ山)内の歩道管理を行った。

事業費:218,400円

事業内容:下刈り

ヲバベタ山公衆トイレの管理を行った。

浄化槽保守点検業務委託:23,100円

保安林に関すること

緑化事業に関すること

四季花咲くまちづくりを推進するため稲作後の水田、遊休農地等を利用して花の種子(ヒマワリ、コスモス、ナノハナ)を蒔いた。また、創造の森桜園等の管理、山口農園の管理を行った。

(1) 福川原景観モデル事業

事業費:150,000円(委託料)

37,500円(種子等購入費)

事業内容:ヒマワリ、コスモス、ナノハナの作付け及び管理

(2) 四季花咲くまちづくり事業

事業費:468,764円(委託料)

371,854円(種子等購入費)

事業内容:ヒマワリ、コスモスの作付け及び管理

(3) 桜園等管理委託事業

創造の森桜園等の管理業務

事業費:695,639円(委託費)

65,689円(肥料購入費)

業務内容:除草、施肥、剪定等及び園内の下刈り

(4) 松くい虫防除事業

松くい虫の被害から松を保全する為に薬剤の地上散布を行った。

事業費:294,000円

施工場所:阿児町甲賀・安乗地内(阿児の松原・安乗岬園地)

事業内容:薬剤地上散布 2.5ha

松くい虫の被害から松を保全する為に薬剤の樹幹注入を行った。

ア 事業費:997,500 円(県補助金 627,637 円)

施工場所:阿児町立神地内(天童島・土井ヶ原島)

事業内容:薬剤樹幹注入 松 270 本 薬剤 340 本

イ 事業費:294,000 円

施工場所:磯部町 阿児町 地内

事業内容:薬剤注入 松 18 本 薬剤 80 本

松枯れの伐倒処理を行った。

事業費:279,300 円(委託料)

施行場所:阿児町甲賀地内

事業内容:松枯伐倒処理(黒松植栽地整備)

阿児の松原に甲賀小学校卒業生とともに松くい虫抵抗性松の記念植樹を行った

事業費:105,000 円(委託料)126,000 円(抵抗性松購入代)

施工場所:阿児町甲賀地内(阿児の松原)

事業内容:抵抗性松 150 本植樹

(5) 緑化団体の育成・支援

青少年の緑化への取組を推進するため、鶴方緑の少年少女隊に活動費の補助を行った。

活動費補助金:50,000 円

(6) 山口農園管理業務

山口農園の除草、施肥、消毒等管理作業を行った。

147,200 円(肥料等購入費)

860,800 円(臨時作業賃金)

(7) 大王町田神水生園管理事業

除草作業や花苗を植えて管理を行った。

委託費:95,260 円

(8) 緑化推進委員会

緑化推進委員会会議を年 2 回開催した。

報酬:132,000 円 旅費:4,000 円

林業畜産関係団体に関すること

林業畜産物(特産物)の開発、指導及び奨励に関すること

狩猟鳥獣に関すること

鳥獣飼養許可:23 件

有害鳥獣駆除のための捕獲許可に関すること

(1)有害鳥獣捕獲許可

有害鳥獣捕獲許可:165 件

(2)有害鳥獣防止対策

作物等に被害を与える鳥獣を捕獲、駆除する。

有害鳥獣防止対策事業

猪等による農作物の被害を防ぐために、電気柵を支給した。

事業費:1,450,235 円

受益者負担:事業費の1 / 2

対象農家戸数:25 戸

猟友会への有害鳥獣駆除委託

委託金:640,000 円

ハンター保険料:55,110 円

畜産の振興及び技術改良に関すること

家畜の防疫及び保健衛生に関すること

県が実施する現地調査及び統計調査及び苦情処理に協力及び同行した。

南勢家畜保健衛生所が実施する鳥インフルエンザ検査等に協力した。

畜産の環境保全に関すること

その他林業保全に関すること

土地改良事業に関すること

農業基盤の向上を図るため農道整備等を行った。

(1) 県営ふるさと農道整備事業

事業費 144,000,000 円

負担金 35,989,000 円

(2) 県営磯部・浜島地区 農免道路整備事業

事業費 74,000,000 円

負担金 18,869,000 円

(3) 中山間地域総合整備事業

事業費 200,000,000 円

負担金 39,475,000 円

農林道及び農林業用施設の維持管理に関すること

(1) 農林道維持管理

林道五知恵利原線の道路法面草刈(6,427m²)、側溝清掃(285m)、集水枡清掃(13箇所)、林道飯浜山田線の道路法面草刈(3,215m²)、側溝清掃(75m)、集水枡清掃(1箇所)を行った。

林道維持管理業務委託料 1,054,200円

農道越賀大谷線の道路草刈(2,681m²)を行った。

農道維持管理委託料 365,400円

(2) 排水機場維持管理

湛水から防護するため施設の維持管理及び修繕を行った。

排水機場の維持管理等に関する運転管理の業務委託

下之郷排水機場運転管理委託料 240,000円

畔名排水機場運転管理委託料 300,000円

阿児川排水機場運転管理委託料 240,000円

排水機場の維持管理に関する三重県土地改良事業団体連合会との(専門的)管理指導業務委託

排水機場管理指導業務委託料 2,667,000円

排水機場維持管理工事

阿児川排水機場水門用電気配線修繕等 966,000円

下之郷排水機場内漏水修理 20,716円

(3) 農地海岸維持管理事業委託

旧磯部町分農地海岸維持管理事業の業務委託料 200,000円(2名)

旧浜島町分農地海岸維持管理事業の業務委託料 240,000円(2名)

災害復旧事業に関すること(農林水産施設災害復旧事業)

(1) 平成19年7月14～15日発生台風4号災害復旧事業

磯部町穴川字中街道頭首工復旧工事 8,056,650円

施工内容:エプロン復旧

磯部町下之郷字大崎地内道路復旧工事 724,500円

施工内容:ブロック積工

浜島町迫子字山田地内道路復旧工事 1,527,750円

施工内容:ブロック積工

阿児町鷓方字鷹ノ巣地内田(畦畔)復旧工事 1,207,000円

施工内容:ブロック積工

阿児町安乗字田神地内畑(畦畔)復旧工事 514,500円

施工内容:ふとんかご工

大王町波切字西志坂地内畑(畦畔)復旧工事 1,517,250円

施工内容:ブロック積工

(2) その他災害復旧

阿児町鷓方字後沖地内農業用排水路災害復旧工事 249,900円

施工内容:法面復旧

大王町畔名排水機場災害復旧工事 299,250円

施工内容:コンクリート復旧工

阿児町志島字蟹潟地内農道路肩災害復旧工事 373,800円

施工内容:玉石積工

水産課

志摩市の沿岸域における水産資源の状態は、漁場環境の変化等により非常に低い水準にある。また、依然として魚価は低迷する傾向にあり、燃油の高騰などコストの向上と併せて漁業経営は依然として非常に厳しい状態にある。

このような現状にあって、今後の水産業振興のあり方を明確にするため、志摩市総合計画に基づく志摩市水産業振興計画の策定を行った。

本年度実施した具体的な事業としては、種苗の放流による積極的な資源の増大を図り、資源管理型漁業の推進に努めるとともに、投石事業などを実施することにより、漁場環境の改善と拡大を図った。また、限られた水産資源により付加価値を付けるために、漁業者が行う水産物のブランド化について支援を行った。

内湾域の漁業振興については、地域結集型共同研究事業の成果を活用して英虞湾の自然環境を再生し、真珠の生産性を向上するための英虞湾自然再生協議会の設立を通じて、市民全体を取り込んだ漁場環境の再生に向けた検討を行った。

また喫緊の問題である夏季の貧酸素水塊等の発生を抑制するため、底質改良剤の散布に補助を行った。また、真珠養殖業については貝柱の赤変化をとまなう感染症の影響を依然として受けており、現段階で確立している感染症対策についての啓発を図るとともに、漁場環境情報の提供に努め、生産性の向上を図った。

漁港の基盤整備については、安乗漁港、波切漁港において広域漁港整備事業(県営継続事業)、和具漁港において漁港漁場機能高度化統合補助事業(県営新規事業)を中心に実施した。市営では、神明漁港において県単漁港改良事業を実施した。

また、漁港海岸侵食対策事業(市営)を名田漁港海岸において本年度から実施した。その他、漁港及び漁港施設(公園・公衆便所)の維持管理、安全性・機能性向上などを目的に、維持修繕事業を行った。

1 種苗放流(生産)事業(補助金)

水産資源の増大を図るため、漁協等が実施した各種種苗の放流及び生産事業に対して補助を行った。

(1)アワビ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合、越賀漁業協同組合、布施田漁業協同組合、大王種苗センター運営委員会

事業費 : 10,116,544 円(内、市補助金 4,758,000 円)

事業内容 : アワビ 25mm 121,478 個を放流(種苗を購入して放流)
アワビ 25mm 24,000 個を放流(種苗を生産して放流)
アワビ 15mm 210,000 個を購入し中間育成後に放流

(2) サザエ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合、鳥羽磯部漁業協同組合
事業費 : 1,120,000 円(内、市補助金 440,000 円)
事業内容 : サザエ 33,000 個を放流

(3) ナマコ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合、鳥羽磯部漁業協同組合
事業費 : 1,312,000 円(内、市補助金 511,000 円)
事業内容 : ナマコ 17,979 尾を放流

(4) アカウニ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合
事業費 : 400,000 円(内、市補助金 150,000 円)
事業内容 : アカウニ 10,000 個を放流

(5) トラフグ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合、志摩南部地区ふぐ延縄連合組合
事業費 : 3,000,000 円(内、市補助金 1,102,000 円)
事業内容 : トラフグ 150,000 尾を中間育成・放流

(6) クロダイ

事業主体 : 鳥羽磯部漁業協同組合
事業費 : 350,000 円(内、市補助金 175,000 円)
事業内容 : クロダイ 4,375 尾放流

(7) カサゴ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合
事業費 : 1,000,000 円(内、市補助金 500,000 円)
事業内容 : カサゴ 20,000 尾放流

(8) ヒラメ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合
事業費 : 720,000 円(内、市補助金 360,000 円)
事業内容 : ヒラメ 24,000 尾放流

2 種苗放流事業(負担金)

(財)三重県水産振興事業団が事業主体となつて行うマダイ、クルマエビ等の種苗放流事業の経費を負担した。

(1) クルマエビ・ヨシエビ

事業主体 : (財)三重県水産振興事業団
負担金 : 1,300,000 円
事業内容 : クルマエビ、ヨシエビを放流。

放流尾数:クルマエビ 1,000,000 尾を中間育成後放流
ヨシエビ 300,000 尾を中間育成後放流

(2)マダイ

事業主体 : (財)三重県水産振興事業団
負担金 : 1,032,000 円
事業内容 : マダイ種苗 100,000 尾を中間育成後放流。

(3)アワビ

事業主体 : (財)三重県水産振興事業団
負担金 : 900,000 円
事業内容 : 造成漁場におけるアワビ種苗放流事業の効果を確認するため、標識を着けたアワビ 30,000 個を甲賀と片田において放流した。

3 英虞湾観測事業(補助金)

英虞湾における真珠養殖漁場の海況変化や赤潮の発生を早期に発見し、迅速な対応を図るため、定期的な海況観測、水質調査を実施する真珠組合・真珠研究会に対し補助を行った。

事業主体 : 三重県真珠養殖漁業協同組合、立神真珠研究会等
事業費 : 2,060,802 円(内市補助金 906,000 円)
事業内容 : 定期的な海況観測、プランクトン観測の実施

4 沿岸漁業経営構造改善事業

(1)築いそ

漁業基盤の整備による磯根資源の増大を図るため、御座地区地先において、投石事業を行った。

施工業者 : セイケン工業株式会社
工事請負費 : 3,465,000 円
事業内容 : 500kg 内外自然石 904 m³投入

5 県単沿岸漁場整備事業

(1)築いそ

漁業基盤の整備による磯根資源の増大を図るため和具地区地先及び名田地区地先において、それぞれ投石事業を行った。

(和具地区)
施工業者 : 伊藤建設(有)
工事請負費 : 1,722,000 円
事業内容 : 1t 内外自然石 450 m³投入
(名田地区)
施工業者 : 伊藤建設(有)
工事請負費 : 1,732,500 円

事業内容 : 1t 内外自然石 430 m³投入

(2)底質改良剤散布(補助金)

アコヤガイに被害を及ぼす貧酸素水塊等の発生を抑制し、安定した真珠の生産を維持するため、真珠養殖漁業協同組合が底質改良剤(クリアウォーター)を散布する事業に対し補助を行った。

(神明地区)

事業主体 : 神明真珠養殖漁業協同組合

事業費 : 3,000,000 円(内、補助金 2,100,000 円)

事業内容 : 底質改良剤(クリアウォーター)893 袋の散布

(和具地区)

事業主体 : 三重県真珠養殖漁業協同組合

事業費 : 2,500,000 円(内、補助金 1,750,000 円)

事業内容 : 底質改良剤(クリアウォーター)745 袋の散布

6 モズク養殖事業化試験委託事業

志摩市におけるモズク養殖の事業化に向けて、技術の開発と漁業者への普及啓発を行った。

受託業者 : (株)応用地学研究所

委託料 : 2,730,000 円

事業内容 : 志摩市沿岸での適切な養殖方法の技術開発を行うこと目的とし、漁業者の参画を得て、現場海域での養殖試験を行った。

7 漁場環境調査事業

英虞湾、的矢湾の漁場環境を把握し、適正な漁場管理を行うための資料とするため、英虞湾、的矢湾において漁場環境調査を実施した。

(1)英虞湾

受託業者 : 三重県

委託料 : 1,000,000 円

事業内容 : 英虞湾内20測点における水質、底質調査を実施

(2)的矢湾

受託業者 : (財)三重県環境保全事業団

委託料 : 558,150 円

事業内容 : 的矢湾内5測点において、年2回の水質・底質・底生生物調査を実施

8 種苗生産施設の管理運営

阿児増殖センター及び大王種苗センターの管理運営を行った。

事業費 : 7,281,793 円

事業内容 : アワビ稚貝 100,000 個を中間育成(阿児増殖センター)。

9 志摩市水産業振興計画策定事業

志摩市総合計画に基づく水産業振興計画の策定を行った。

受託業者:玉野総合コンサルタント株式会社 三重事務所

委託料:4,718,000 円

事業内容:水産業振興計画の策定。

10 漁港関係事業

(1) 県営安乗漁港関連道路整備事業(負担金)

活魚輸送車や路線バス等、大型車輛等の現道への輻輳を避け、効率的な輸送体制の確立を図るとともに、緊急時における避難路の確保を目的に、平成 13 年度から事業を継続している。19 年度は舗装工(L=302m)、ブロック積(A=117 m²)、道路照明設置(5基)を実施した。

事業主体: 三重県

施工業者: (有)出馬重機、(有)奥野電工

総事業費: 23,000,000 円

市負担金: 3,833,000 円[事業費×1/6]

また、県単安乗漁港改良事業(関連道関係)で、安全対策の為、転落防止柵を設置した。

事業主体: 三重県

施工業者: (有)出馬重機

総事業費: 2,000,000 円

市負担金: 800,000 円[事業費×4/10]

(2) 安乗漁港県営広域漁港整備事業(負担金)

安乗漁港は、中型まき網船の操業により、用地及び係留施設が現在不足している。陸揚げ作業が集中する時間帯には、漁船は相当な時間待機している。そのため、用地整備、陸揚げ係留施設整備を行い、作業及び流通効率の向上を図る。19 年度は、駐車場用地整備(法面保護工 A=254 m²、舗装工 A=791 m²)、泊地浚渫 A=891 m²、畜養岸壁の測量、設計、地質調査を行った。

事業主体: 三重県

施工業者: (株)石吉組、(有)出馬重機、青葉工業(株)、(有)三重測地、ポートコンサルタント(有)、鳥羽建設(株)

総事業費:131,200,000 円

市負担金: 31,150,000 円[(用地整備)事業費×2.5/10、(泊地浚渫)事業費×1/10]

(3) 安乗漁港県単改良事業(負担金)

昭和52年に敷設した駐車場舗装盤の傷みが激しく改修(A=1,444 m²)を行った。また、既設の係船環の取り替え(3基)を行った。

事業主体: 三重県

施工業者: (有)出馬重機

総事業費：3,000,000 円

市負担金：1,200,000 円[事業費 × 4/10]

(4) 波切漁港県営広域漁港整備事業(負担金)

泊地浚渫(市場岸壁前のブロック・方塊の撤去)、用地舗装(A=2,090 m²)、道路照明(2基)設置等を行った。

事業主体：三重県

施工業者：丸文・畑中経常建設共同企業体、セイケン工業(株)、(有)林組

総事業費：40,900,000 円

市負担金：5,500,000 円[(用地舗装)事業費 2.5/10、(耐震岸壁)事業費 × 2/10、(泊地浚渫)事業費 × 1/10]

(5) 和具漁港漁場機能高度化統合補助事業(負担金)

19年度からの新規事業で、安全な港づくりの推進のため実施した。本年度は、大中型漁船の入港を容易にする為、湾口にある消波ブロック(ブロック 541 個、方塊 170 個)を取り除き、県外からの利用漁船の増加を図った。

事業主体：三重県

施工業者：セイケン工業(株)

総事業費：30,000,000 円

市負担金：7,500,000 円[事業費 × 2.5/10]

(6) 県単深谷(船越)漁港改良事業(負担金)

岸壁物揚場で夜間や早朝の漁業作業時の安全対策として、自発光鈹(12基)の設置を行った。

事業主体：三重県

施工業者：セイケン工業(株)

総事業費：500,000 円

市負担金：200,000 円[事業費 × 4/10]

(7) 神明漁港県単漁港改良事業

神明漁港の安全対策として、海上への車両等転落防止のため車止めの設置、港内道路との段差部へのガードパイプの設置、護岸開口部への重力式擁壁の設置を行った。

事業主体：志摩市

施工業者：(有)上村工務店、クレセル

工事費：4,999,050 円

工事内容：車止め(L=120m、80 個)、ガードパイプ(L=65m)、重力式擁壁1箇所

(8) 名田漁港海岸保全施設整備事業(国補)

名田漁港海岸においては、長年に渡り波浪の影響を受け、天然護岸の侵食面が背後集落に近づいてきており、消波ブロックの設置により更なる侵食を防ぎ、背後集落の防護を行う。19年度は深浅測量及び基本設計を行った。

事業主体：志摩市

施工業者：(財)三重県建設技術センター、藤本測量設計事務所

委託料：7,651,300 円

(9) 漁港施設(公園・トイレ)清掃委託料

漁港施設(公園4箇所・トイレ13箇所)の清掃作業について委託契約を締結し、維持管理を行った。

受託業者: 志摩市シルバー人材センター、他6者

委託料: 1,592,704円

商工課

商工関係

国内外における政治的経済的不安要素により、国全体の景気の先行きに関する不透明感がさらに増している。各地方においてもその影響は見受けられ、依然として景気回復につながる動きが感じられない状況である。

県内に目を向けてみると、北部や中部においては企業誘致の成功に伴う堅調な経済成長の状況が聞こえてくる反面、南部地域の景気低迷が一層深刻化していると囁かれる結果となってしまっている。この志摩地域においても、長引く地場産業の低迷に苦慮する状況が続く中であって、さらに追い打ちをかけるように年末頃から全国を襲った原油価格の高騰は、地元商工業者の経営を直撃し、地域住民の個人消費にも一層の低迷をもたらす結果となり、依然として厳しい現状が続いていると言わざるをえない。

このような状況を打破し、地域における商工業の振興を図るにあたっては、国及び県の行う各種の景気回復策に同調して施策を展開することが必要不可欠であると考え。

また、地域の商工業者との係わりが深い地元商工会との連絡調整は不可欠であり、常に連携を図りながら、雇用の促進、地域の特性を生かした事業展開を含め、中小企業の安定と振興並びに経営革新を図るように努めた。

(1) 商工振興

- ・地域商工業の振興に関する事務(補助金交付事務を含む。)
- ・地域における起業支援の一環として女性起業家支援事業の実施
- ・地元特産品県外PRのための宣伝事業の実施
- ・中小企業融資制度に関する事務

(2) 消費者行政

- ・消費生活相談の受付・応対
- ・生活情報、暮らしの知識の啓発
- ・消費者啓発リーフレットの配布

(3) 労働行政

- ・勤労者福祉雇用安定対策に関する啓発
- ・最低賃金周知に関する啓発
- ・公益通報に関する事務及び啓発

(4) 補助事業

商工会運営補助金	26,480,000円
商工会事業補助金	2,780,000円
伊勢志摩真珠フェア補助金	160,000円
真円真珠100周年記念事業補助金	319,000円
女性起業家支援補助金	413,934円
南志摩たばこ販売協同組合補助金	500,000円
街路灯組合補助金	478,244円
志摩町商工業協同組合補助金	480,000円

(5) 都市再生整備費

平成16年度に認可を受けた、まちづくり交付金事業の都市再生整備計画に基づき、最終の高質空間形成施設整備事業を行い、事業の事後評価策定業務を行った。

委託料(支出科目 7-5-4-13)

・まちづくり交付金事業(浜島地区)

まちづくり交付金事業事後評価策定業務委託 3,150,000円

工事請負費(支出科目 7-5-4-15)

・まちづくり交付金事業(浜島地区)

市道浜島5号線・8号線道路整備工事 9,284,100円

・まちづくり交付金事業(浜島地区)

市道浜島14号線接続避難路壁面改修工事 2,812,950円

観光戦略室

観光関係

平成19年6月、国により観光立国推進基本計画が策定され、国民の国内旅行及び外国人の訪日旅行を拡大、将来にわたる豊かな国民生活の実現のため観光の持続的な発展を推進、地域住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会を実現するといった基本的な方針が定められた。今後、この方針に基づいた地域の観光施策の実施や魅力ある観光地づくりを進めていく必要がある。

平成19年度においては観光客誘客のため、テレビ局、マスコミ関係からの取材に対する協力及び新聞、旅行雑誌等への宣伝活動、志摩市のホームページを利用した観光PRの展開を行った。

また、インターネットなどを活用して、情報発信の充実を図ったほか、伊勢志摩真円真珠誕生100年記念にちなんだイベント等観光協会をはじめとする関係機関や各種団体と連携を強化して、志摩市への誘致宣伝に努めた。

平成19年度の観光客入込数は、約430万人で前年との比較では、日帰り客数は減少

しているものの宿泊数は増加した。

(1) 観光関係団体に関すること

志摩市観光協会をはじめ、(社)伊勢志摩観光コンベンション機構、(財)伊勢志摩国立公園協会などの関係機関・団体等との連携、相互協力による地域イベントの実施により誘客に努めた。

広域連携組織の「伊勢志摩学生団体誘致委員会」による学生団体誘致キャラバンに参加して川崎市内の中学校を訪問、大阪府小学校対象誘致セミナーに参加し26校へプレゼンテーションを実施、また大阪府小学校長会との情報交換を行うなど、修学旅行の誘致に向けた活動を行った。

「伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会」では、若手観光担当者らによる伊勢志摩広域のアイデア観光パンフレット製作を行うなど誘客宣伝を図った。

英虞湾自然体験観光推進協議会が発足し、英虞湾をフィールドとした体験プランについての商品化や二次交通の整備等について協議を行った。

(2) 観光施設の整備、運営に関すること

海水浴場、わんさかわんさ、近畿自然歩道など観光施設等の管理・運營業務の委託を行った。

市内海水浴場においては、7月21日から8月19日の間、阿児の松原海水浴場を拠点として、ライフセーバーを配置し、「安心・安全な海水浴場」のイメージアップを図った。

また、「志摩コーストガーディアンズ」の防災訓練への参加、ライフセービング教室も開催した。その他、道の駅「伊勢志摩」・南張海浜公園・安乗埼灯台資料館を指定管理者制度により運営管理を行った。

・公衆トイレに関すること

市内44箇所の公衆トイレの清掃、維持管理を行った。

志摩市行政改革実施計画に基づき、公衆トイレの必要性について各支所を通じ自治会をはじめ関係団体へ意見聴取を行った。

・自然公園の管理に関すること

伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会、(財)伊勢志摩国立公園協会並びに環境省自然保護官等と連携を図り、GGG緑化事業、国立公園清掃事業の窓口を担い、園地等の管理及び美化清掃活動を行った。

・パークゴルフ場の管理に関すること

パークゴルフ場の運営嘱託専門員及び臨時職員と連携を図り、管理運営を行った。

また、老朽化したフェンスの改修を行った。

(3) 観光宣伝に関すること

10月1日から3月31日の間、伊勢市・鳥羽市・県等と連携して、官民一体となった「伊勢志摩キャンペーン」を実施し、旅行エージェント関係等への宣伝活動を行ったほか、1

月に東京と2月に大阪で開催された(社)三重県観光連盟主催のメディア交流会へ観光協会と共同で参加し、三大グルメ(伊勢えび、あのりふぐ、的矢かき)をPRした。11月と2月には平城京キャンペーン(平城遷都 1300年)として奈良市を訪問し、春日大社へ三大グルメを奉納し、志摩特産品の販売、振る舞いを実施するなど誘客を図るべく観光PRを行った。

また、5月に愛知県豊川市で開催された「おいでん祭」、10月に福井県小浜市で開催された「食と文化の交流フェア」へ参加し、地域間の交流を深めるとともに誘致宣伝活動を行った。さらに、マスメディア関係からの取材依頼に対する協力や伊勢志摩フィルムコミッションへの支援、旅行雑誌などへの広告掲載を行い、志摩市の知名度の向上を図った。

そのほか外国人観光客に対応すべく3か国語(英語版、中国語・韓国語併記版)の観光パンフレットを製作した。

(4) 観光客の集客交流に関すること

11月3日～5日に開催された全米女子プロゴルフ協会公式戦ミズノクラシックにおいて、主催者側との連絡調整やボランティアスタッフの募集など、大会支援の窓口として対応した。

また、鵜方駅・賢島駅を中心とした環境整備(プランター花壇)の実施、主要道路周辺への「のぼり旗」の設置などを行い、来訪者の歓迎を演出した。

そのほか、真円真珠発明100年を記念し、出場選手に真珠製品をプレゼントするなど新たな取り組みを行った。

9月17日には志摩スペイン村と連携し、「志摩のまつり in パルケ」において志摩市の伝統文化の披露や体験イベントを開催し、市民・観光客ら来場者の交流を図った。

その他、映画によるまちづくり事業を実施し、映画やドラマのロケ地誘致にかかる地域のサポート体制を図るなど観光協会等と共同して各種の集客交流イベントを実施した。

(5) 観光統計に関すること

市内各宿泊施設や観光施設の協力のもと、入込み客数について志摩市観光協会に委託し調査を行った。 200,000円

(6) 志摩自然学校に関すること

自然体験プログラムの提供拠点となる「志摩自然学校」運営の業務委託

5,418,000円

体験プログラム「英虞湾シーカヤックツーリング」が大好評であり、利用者数は2,598人である。

(7)施設利用状況

施 設		利用者数 (人)	使用料(円)
道の駅「伊勢志摩」		247,841	
志摩パークゴルフ場		40,741	8,069,300
阿児の松原スポーツセンター		13,814	3,867,400
内 訳	プール	4,747	1,110,600
	テニスコート(駐車場利用含む)	8,057	2,756,800
産業振興会館「ちちろ」		1,810	
集客交流拠点施設「わんさかわんさ」		9,430	

(8)備品購入関係 (円)

ビーチバレーコート備品購入費(支柱セット、支柱カバー各2セット)	555,240
----------------------------------	---------

(9)工事関係 (円)

パークゴルフ場内周辺フェンス改修工事費	918,750
---------------------	---------

(10)補助金及び負担金事業 (円)

伊勢志摩キャンペーン補助金	4,000,000
観光協会運営補助金	16,000,000
観光協会事業補助金	6,400,000
阿児の松原海水浴場運営補助金	1,000,000
温泉振興補助金	33,288,000
志摩市活性化プロジェクト事業補助金	991,000
東海地区外国人観光客誘致促進協議会負担金	200,000
三重県観光連盟負担金	835,000
伊勢志摩観光コンベンション機構負担金	13,800,313
伊勢志摩国立公園協会負担金	986,000
伊勢志摩国立公園清掃活動事業負担金	685,000
伊勢志摩学生団体誘致委員会負担金	600,000
伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会負担金	6,800,000
伊勢志摩ビジターセンター管理分担金	113,000
伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会負担金	150,000
三重テレビ放送「新番組」制作負担金	2,000,000

浜島磯体験施設「海ほおずき」

磯体験施設「海ほおずき」は、平成16年4月開館し、平成19年度も「都市と漁村の交流の促進」、「水産業の健全な発展と調和」という施設整備の主旨に沿い、下記の各体験事業を実施した。

1. 体験者数及び収入状況

(1) 磯体験事業

磯体験については、4月1日オープンし、10月末で終了した。
11月1日から2月末まで「アジ釣干物体験」を実施した。

利用者数	大人	11,398人
	小人	4,722人
	計	16,120人

収入状況 4,981,050円

(2) 故郷料理体験事業

郷土料理(てこね寿司(海鮮カレー含む)、沖おにぎり、漁師の朝食)を、調理し食することにより、郷土の伝統文化、生活習慣の紹介を行った。

利用者数

てこね寿司(海鮮カレー含)体験	826人
沖おにぎり体験	902人
漁師の朝食体験	39人
計	1,767人

収入状況

てこね寿司(海鮮カレー含)体験	746,200円
沖おにぎり体験	442,300円
漁師の朝食体験	41,600円
計	1,248,100円

(3) 水産加工体験事業

新鮮な材料による干物造り体験(魚種:アジ、カマス、サンマ、その他)を実施した。

(課題:消費者の魚離れ、消費拡大、魚価の低迷等)

利用者数 851人

収入状況 512,900円

(4) 学習体験事業

びん玉作り(びん玉の用途、使用方法、作り方等について)、ルアーホルダー作り(模擬ルアー作り)、プレート作り(木型で作ったプレートに色を付けることにより魚種の紹介)、塩作り(海水から真塩が出来ること、身近な環境問題)、淡水真珠ストラップ作り(淡水真珠、ビーズ、釣り糸、魚の模型を利用したストラップ)、シェルアート作り(タイルに魚の形を書き、あこや貝を貼り付け色付けをする)等の学習体験を実施した。

びん玉作り体験

ア. 体験者数 50人

イ. 収入状況 50,000円

ルアーホルダー作り体験

ア. 体験者数 353人

イ. 収入状況 105,900円

プレート作り体験

ア. 体験者数 139人

イ. 収入状況 69,500円

塩づくり体験

ア. 体験者数 34人

イ. 収入状況 15,300円

ストラップ作り体験

ア. 体験者数 740人

イ. 収入状況 370,000円

シェルアート作り体験

ア. 体験者数 163人

イ. 収入状況 81,500円

ペーパークラフト体験

ア. 体験者数 2人

イ. 収入状況 400円

海がめ物語体験		
ア. 体験者数		175人
イ. 収入状況		12,000円
学習体験計	体験者数	1,656人
	収入状況	704,600円

(5) その他事業

自家製干物販売収入	82,600円
ゼリー、タオル販売収入	156,770円
自動販売機等手数料	169,683円
計	409,053円

2. 主な歳出の状況については、次のとおりである。

(1) 各体験教室原材料仕入れ費 1,694,701円

(2) 魚類購入費 829,375円

ともやま公園事務所

1. 事業関係

本年度の事業としては、施設利用者数は、キャンプ村 5,423 人(前年度 5,283 人)野外活動センター 3,286 人(前年度 3,503 人)球場 5,984 人(前年度 5,771 人)テニスコート 1,198 人(前年度 1,053 人)屋内運動場 5,168 人(前年度 5,604 人)トレーニングルーム 313 人(前年度 113 人)プール 3,188 人(前年度 2,865 人)海水浴場 10,388 人(前年度 11,727 人)イベント広場 346 人(前年度 720 人)となった。

キャンプ村利用団体数は、県外 22 団体(前年度 19 団体)、県内 11 団体(前年度 12 団体)、市内 8 団体(前年度 12 団体)の合計 41 団体(前年度 43 団体)、野外活動センター利用団体数は、県外 20 団体(前年度 21 団体)、県内 22 団体(前年度 18 団体)、市内 8 団体(前年度 8 団体)の合計 50 団体(前年度 47 団体)となった。

イベント事業としては、9月1日(土)ともやま公園イベント広場にて星空映画会を開催したが、突然の雨のため、入場者は 344 人となった。(前年度 720 人)

野外体験活動としては、らでん細工教室 2 回 95 人(前年度 2 回 114 人)イカダ体験教室 18 回 1,493 人(前年度 20 回 1,300 人)ウミホタル自然観察会 44 回 2,028 人(前年度 49 回 2,565 人)ストーンペインティング教室 3 回 61 人を実施した。

2. 平成 19 年度ともやま公園施設利用状況

	施設名	H18 利用者数	H18 商工使用料	H19 利用者数	H19 商工使用料
	ともやま公園 キャンプ村	5,283	3,908,280	5,423	4,486,390
	ともやま公園 野外活動センター	3,503	6,635,000	3,286	6,200,250
	ともやま公園 多目的屋内運動場	5,604	735,100	5,168	608,550
	トレーニング室	113	11,700	313	30,500
	ともやま公園 イベント広場	720	6,000	346	12,250
	ともやま公園 プール	2,865	353,900	3,188	380,600
	ともやま公園 球場	5,771	464,850	5,984	519,250
	ともやま公園 テニスコート	1,053	361,500	1,198	424,000
	次郎六郎 海水浴場	11,727	0	10,388	0
	シャワー	0	232,000	0	244,100
	売店土地使用	0	200,000	0	200,000
	ロッカー	0	109,800	0	110,000
	駐車場管理	0	893,400	0	853,600
<合計>		36,639	13,911,530	35,294	14,069,490

3. 平成 19 年度の主な支出状況

ともやま園地維持管理負担金	450,000 円
ともやま公園夏季臨時バス助成金	1,024,607 円
次郎六郎海水浴場送迎委託料	649,573 円
星空映画会上映委託料	357,000 円